

秋岡芳夫が提唱する低座の暮らし

「新和風のすすめ」

巡回展

眠りかけていた日本のDNAが今よみがえる

均一化や集約化が進み利便性ばかりが幅を利かせる今日、秋岡芳夫が生涯唱えたグローカルのすすめ。

日本の風土を尊重した上での生活の国際化と住まいの提案が今も私達に語り掛けています。

日本に根付いていた「一室多用」という暮らし方の工夫もとに秋岡が提唱した「一机多用」の暮らし。

今回はそれを反映したモノ・モノの低座椅子とテーブルを一堂に会し、

約一ヶ月に渡って知識の裏付けが伴った体感メディアをくらし座に開設いたします。

● 会場：くらし座

● 開催日時：12月4日(金)～1月12日(火) ● 開催時間 10:00～19:00

木曜日定休、年末年始休業：12月29日(火)～1月3日(日)



秋岡芳夫（あきおか・よしお）

工業デザイナー、木工愛好家、著述家、教育者

1920年熊本県宇城市生まれ。東京高等工芸学校（現・千葉大学工学部）卒業

1970年にグループモノ・モノを結成。消費社会の到来にいち早く警告を発し、「立ち止まったデザイナー」を名乗る。

「消費者から愛用者へ」「裏作工芸」といった持論を実践し、日本各地で手仕事を通じた地域再生に尽力した。

東北工業大学工学部教授、共立女子大学生活美術学科教授などを歴任。1997年没。

© 堂六雅子

自分の手に馴染む道具「ジャムスプーン」を作ろう！



くらし座

facebook

